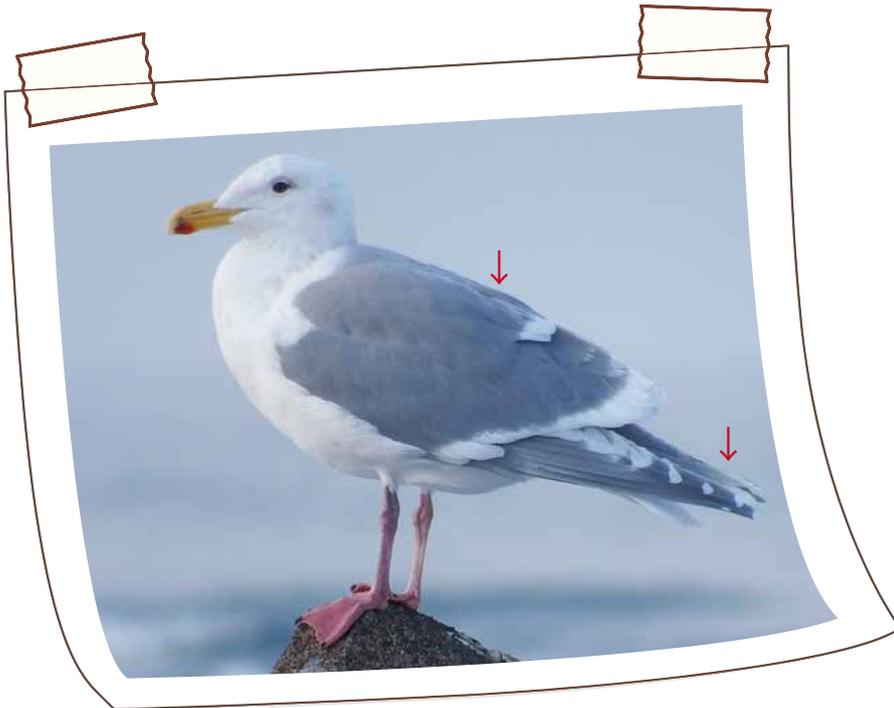




ネイチャーセンターだより

2019年2・3月号

新・いきもの図鑑



ワシカモメ (カモメ科)

体長 65 cm の大型のカモメです。繁殖地はアラスカ半島やアリューシャン列島で、根室では11月から4月頃まで見られます。岸沿いを行き来して、下方を見回しながら食べものを探します。先日、水中に飛び込んで、魚を捕らえたのも確認しました。ワシカモメは、背中也翼の先も灰色です。姿が似たオオセグロカモメは、背も翼の先も黒っぽく、またシロカモメは、翼の先端が白いので見分けがつかず。ワシカモメは、他種の瞳が黄色っぽいのにに対して、黒っぽいので、やさしい顔にみえます。3種が揃って、防波堤や橋の欄干に止まっていることがあります。

【参考文献】

中村登流ほか.1995.原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>.真木広造.2014.日本の野鳥 650.

ワタリガラス

根室市の落石岬や風蓮川河口周辺では、毎年比較的よく確認されている冬鳥ですが、春国岱付近では、あまり記録がありませんでした。それが今シーズンは春国岱周辺でもひんぱんに確認されています。海岸沿いを行き来して、魚やエゾシカ、アザラシの死体などを食べているようです。

トピックス

2019年ワタリガラスの記録

- ・1月6日 1羽・自然学習林
- ・1月27日 2羽・白鳥台
- ・1月27日 1羽・春国岱 (来館者情報)
- ・1月29日 1羽・自然学習林 (スnek情報)
- ・2月1日 1羽・東梅ハイド
- ・同日 2羽以上・春国岱
- ・2月8日 2羽以上・東梅ハイド

翼が長い

くちばしは長くて大きい。額はでっぴらない

尾はくさび型

最大の持ちようは鳴き声です。「カポカポカポ」や「コオコオ」という声が出たら、辺りを見回してみてください。



見どころMAP

オジロワシやオオワシが、防波堤の上や樹上にとまったり、氷の上におりたりしています。



風向きによっては、根室湾が、氷で埋めつくされる日があります。

風のない穏やかな日は、食べものを求めて、10数頭から多いときには、100頭以上のエゾシカがいます。ほとんどがメスです。

ゴジュウカラやシジュウカラなどの小鳥のさえずりが聞かれるようになります。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

2・3月の見どころ予報



凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よーく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オオワシ オジロワシ	2月	○	2019年1月25日に実施した個体数調査(風蓮湖・温根沼)では、567羽、2月1日の調査では、552羽のオオワシ・オジロワシを確認。2月8日は、全体で409羽だった。今年は例年に比べて100-300羽少ない状況。
	3月	○	
タンチョウ	2月	+	2019年1月8日に春国岱と前浜湿地で確認したのを最後に見られていないので、鶴居村などの給餌場に移動したと思われる。2018年は春国岱付近で越冬したつがいだったが、例年は3月上旬頃に渡ってくる。
	3月	+	
オオハクチョウ	2月	+	今シーズンは、春国岱付近で50羽前後が越冬しており、氷上で体を丸めて休んだり、氷の間の水面で採食する姿が見られている。3月中旬頃になると、越冬地から風蓮湖に550羽-1,600羽が渡ってくる。
	3月	○	
カモ類	2月	○	2月はホオジロガモ・カワアイサ・ウミアイサが多い。3月は前出のカモにくわえて、ヒドリガモ・オナガガモ・スズガモ・クロガモなどが見られるようになる。
	3月	○	
カモメ類	2月	○	シロカモメ・オオセグロカモメが多い。ほかに冬鳥のワシカモメ・ミツユビカモメ・カモメ・セグロカモメなどが見られる。2月中旬頃からウミネコが越冬地から戻ってくる。
	3月	○	
通年			小鳥類のさえずりの回数が徐々に増えてゆく。(ハシブトガラ・シジュウカラ・ヒガラ・ゴジュウカラ・キバシリ) キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)
見どころ			ワタリガラス(春国岱・自然学習林上空)

今冬のオオハクチョウ

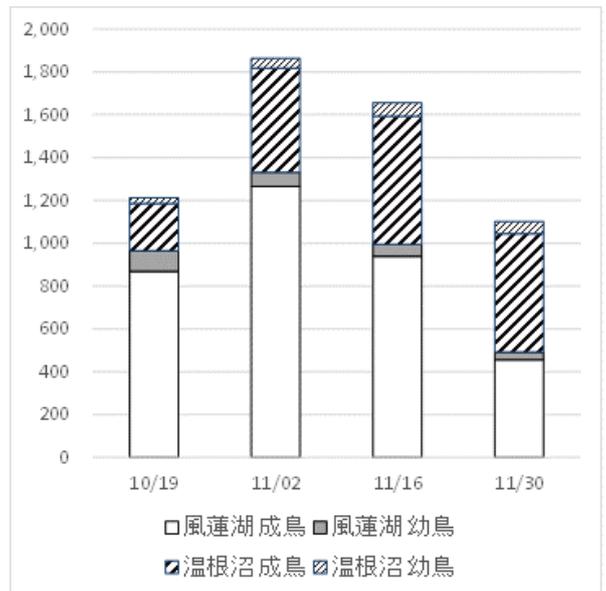


今年度の秋（10～11月）に行った、^{ふうれんこ}風蓮湖・^{おんねとういたい}温根沼一帯のオオハクチョウの個体数調査では、今季は例年より早く、11月上旬をピークとして中旬以降、数が減少していました。このことから、今年度はオオハクチョウは早くにいなくなってしまうと予想していました。

ところが、^{しゅんくにたい}温根沼大橋付近から^{いのこ}春国岱の周辺には、年が明けてもオオハクチョウが居残りました。春国岱湾では2月に入ってからほぼ毎日、20～50羽ほどのオオハクチョウが凍結した春国岱湾の氷の上で眠ったり休んだりしている姿を観察しています。

これ以外に、^{ふうれんこせいぶ}風蓮湖西部の^{やりむかし}槍昔と^{はしりこたん}走古丹の間の、凍結していない水面にも、100羽～170羽ほどのオオハクチョウがいるのを目撃しています（1月25日、2月1日）。

春国岱湾は昨シーズン、凍ったり溶けたりを繰り返して、オオハクチョウが多めに居残り、タンチョウも1つがいがかえらずに越冬しましたが、記録を整理してみると、今シーズンは秋のうちからオオハクチョウの数が多く、昨シーズン以上の数が居残っているようです。12月早々にまとまった雪が降ったせいで、今年は寒い冬、というイメージを持っていましたが、オオハクチョウたちにとってはそうでもないのかもしれない。



秋のオオハクチョウのカウント調査の結果

	10月	11月	12月	1月	2月
2017-18年	43	77	32	23	102
2018-19年	202	259	26	61	(50)

ネイチャーセンターから確認した春国岱周辺のオオハクチョウの月別最大羽

春国岱クイズ

自然学習林（ことりのこみちコース）には、モモンガが暮らしています。前足と後ろ足の間にある^{ひまく}皮膜（マントのようなもの）を広げて、グライダーのように、木から木へと10mもビューンと移動でき、地上にはめったに下りてきません。夜行性のため、見ることはなかなかむずかしいですが、センターの近くに2つモモンガ用の^{すばこ}巣箱をかけたので、使ってくればよいなと期待しています。

さて、このモモンガは何の仲間でしょうか。

- ①夜行性で皮膜があるからコウモリのなかま
- ②木の上中心の生活で、尻尾が長いのでリスのなかま
- ③巣箱を使うから鳥のなかま



春国岱ネイチャーセンターのイベント情報！

箕輪義隆 作品展

3月3日(日)まで
センター1階に展示中

休館日以外はいつでもご自由にご覧ください。

(主催：ねむろバードランド
フェスティバル実行委員会)

科学イラストレーター・箕輪義隆さんが描かれた野鳥画の作品を11点展示しています。「海鳥識別ハンドブック」、「鳥のフィールドサイン」(文一総合出版刊)、「見る読むわかる野鳥図鑑」(日本野鳥の会刊)など著書多数。日本野鳥の会オリジナルの「ジシギクリアファイル」なども手がけておられます。



募集中!

ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画しています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費(保険料)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ 答 ②リスのなかま。

北海道に生息するのはエゾモンガです。漢字では「毛美」と書き、元々は本州に生息するムササビのことを「ももんぐわあ」と言ったそうです。「ももん」が「毛美」のなまりで「ぐわあ」は鳴き声を表しています。広葉樹や針葉樹の葉や芽を食べる植物食性で、年に2回、春と夏に2-6頭の仔を産みます。(多くは3頭) 寿命は、野生で3年以上はまれだそうです。

出典：エコ・ネットワーク編.1994.北海道森と海の動物たち・阿部永ほか.2008.日本の哺乳類

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp 最新情報はFBをご覧ください

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆休館日：(3月までの開館時間9:00-16:30)

2月6・12・13・20・27日

3月6・13・20・22・27日

◆団体でご利用の方へ (要事前申込)

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録